

日本共産党 高槻市議員団 市政資料

発行/
日本共産党
高槻市議員団
高槻桃園町2-1
電話
072-674-7230
FAX
072-674-3202

中村れい子
☎685-6686
宮本雄一郎
☎695-1900
きよた純子
☎676-5068
出町ゆかり
☎655-8513

2016年度国民健康保険料の答申が示される

一人あたりの医療費3.5%増と 国の制度変更で国保財政悪化

1月22日に国民健康保険運営協議会が開催され、会計の収支状況、次期保険料について審議がされました。2015年度の国保会計の収支見込みは4億3千万円の赤字です。市は赤字の原因は医療費の伸びによるものと報告。しかし、それ以外に保険財政共同安定化事業の国による制度変更の影響もありました。大阪府内の市町村国保の医療費負担を共有するために、市町村国保から拠出金を出しています。これまで30万円以上から80万円以下の医療費を対象に給付していましたが、2015年度から1円以上、80万円以下の医療費に対象拡大され、拠出金が大幅に増やされました。



市が低所得者への保険料値上げを提案

市の報告を受け、宮本委員は国保財政の収支悪化を招いたのは、保険財政共同安定化事業の制度変更をした国に責任があり、そのしわ寄せを加入者に負わせることは問題だと主張。4月以降の保険料については年間収入が98万円以下の世帯だけが保険料値上げになる提案でした。月8万1000円以下で生活されている人の保険料を上げるべきではないとし、低所得者への配慮を求めました。

1月29日に協議会での審議結果と意見集約した答申を市長に提出しました。

その内容は2016年度は中間所得者層の負担軽減のため、保険料の限度額は4万円引き上げ、平均保険料は据え置くこと。また、低所得者の加入割合が高く、保険料の負担も重いとして、低所得者の保険料負担にあたっては考慮するよう求めています。

都市計画道路網の見直しについて

計画変更での府との協議はいつ

2012年に大阪府から都市計画道路の見直し素案が提示され、「芥川上の口線」、「富田奈佐原線」、「高槻茨木線」、「高槻駅柱本線」などの府道が廃止路線とされました。

市は2014年度の報告で、「都市計画道路は2004年度の見直しから10年以上経過し、交通量や人口減少などの社会情勢の変化を踏まえ、適切な見直しを行うべき時期にきている」とし、最終の見直し案を1月20日の都市計画審議会に報告しました。その中で、府が廃止とした4路線は市の最終見直し案では「幅員変

路線名		高槻市(案)	大阪府(案)
芥川上の口線	171号柳原交差点～殿町交差点	存続 (幅員変更)	廃止
富田奈佐原線	171号大畑町交差点～岡本町付近	存続 (幅員変更)	廃止
高槻茨木線	171号中川町交差点から茨木まで西南にのびる道路	存続 (幅員変更)	廃止
高槻駅柱本線	高槻市役所前交差点から唐崎北交差点	存続 (現道幅に変更)	廃止

更」としています。見直し路線のうち12路線は府道であるため、府と協議の上、合意した路線を順次見直すとのことです。

府が廃止としている路線の中には、車の渋滞がひどく歩道の設置がされていないため、人や自転車にとって危険な道路もあります。そうした道路については、市は計画よりも道路幅を減らしてでも計画道路として存続することを府に働きかけています。少しでも安全な道路にしていくためにも、地域の実情に応じた計画となるよう求めていきます。

3月議会日程

- 3月1日(火) 本会議/施政方針、提案理由説明
- 3月7日(月) 本会議/代表質問
- 3月8日(火) 本会議/質疑
- 3月9日(水) 本会議/質疑
- 3月11日(金) 福祉企業委員会
- 3月14日(月) 文教市民委員会
- 3月15日(火) 都市環境委員会
- 3月16日(水) 総務消防委員会
- 3月28日(月) 本会議/採決、一般質問
- 3月29日(火) 本会議/一般質問

ぜひ傍聴をお願いします
※いずれも午前10時開会です。

高槻市子ども・子育て会議 市立幼稚園などのあり方を審議

1月18日から審議がはじまった高槻市子ども・子育て会議へ諮問された内容は、①市立幼稚園の認定こども園への移行について②市立幼稚園での3歳児保育の実施③幼稚園の園区制の廃止④公民の役割分担について⑤就学前児童の再配置についてです。

市立幼稚園の認定こども園への移行は、ゼロ歳児から2歳児までしか入所のできない小規模保育施設利用者の3歳児受け入れ枠とあてようとするものです。また、定員を大きく下回る幼稚園があることを理由にあげてい

ます。柱本幼稚園は14人、上牧幼稚園は18人と入園者が少ないですが、高槻市の中心から離れた地域で廃止されればその地域の子どもの行く園がなくなるなど懸念されます。4月には答申を出す予定です。その後、市が基本方針案を示し、パブリックコメントをへて、10月頃決定となります。



島本町とのし尿処理に関する協議について

2月1日、地方分権推進特別委員会が開催されました。高槻市東上牧町にある島本町のし尿処理施設について報告がありました。

1965年当時、島本町内にし尿処理施設に適した用地がなかったため、島本町の要請で東上牧町に建設されました。地元自治会はずっと島本町にし尿処理施設撤去を要望されていますが、島本町はそれに応えずに、2009年から「し尿処理施設」の老朽化を理由に高槻市に委託を要望しています。市は2011年に「現時点での受託は困難」と回答。また、東上牧町のし尿処理施設は周辺住民からの施設撤去の要望を踏まえ早急に検討を求

めました。

以後、島本町は町域内での処理施設を建設するとして調査や地元説明に取り組んでいました。しかし、昨年11月に、やはり高槻市への委託が望ましいとの結論に至ったとして、し尿処理の委託について再協議したいとの申し入れがありました。受け入れる場合は、唐崎にあるクリーンセンターが受け入れ先になります。

唐崎クリーンセンター周辺の住民へは、判断をする前に説明することです。出町議員は「地元の人の思いを大切に、十分に時間をかけることが必要だ」と指摘しました。

安満遺跡公園等の整備 全天候型屋内施設の具体化について

2月4日に開かれた史跡整備等特別委員会では、全天候型屋内施設（遊びの創造）については、民間事業者から広く意見・提案を求める「サウディング型市場調査」結果の報告がありました。その概要は、下の表の通り。

今後の方向性は「民間事業者による独立採算による自主運営が可能」とし、3月議会で選定委員会を設置する条例が提案されます。中村議員は利用料金を取ることに違和感を感じるとし、市の考え方を示すべきと指摘しました。

①子どもの遊びを運営するためのコンセプトやアイデア

子どもの発達に応じた遊びや、子どもも大人も遊び、学べるプログラムの提供など多様な提案があった。

②運営の手法

行政からの委託料を基本とする指定管理者制度や事務委託、公民連携した効果的な運営の提案、利用料金に関する想定その他、市場性については複数の事業者から「独立採算による自主運営は可能である」などの意見があった。

③提案事業のアイデアが地域に果たす役割

市民グループとの協働や市民への活動の場の提供、地域の雇用促進など、幅広い提案があった。

④自由提案・自由意見

各社の実績やノウハウを活かした個性的な提案から、高槻市の魅力を活用し、引き出すプログラムの提案など、幅広い意見を聞くことができた。